

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

785

外国人講師・国際交流事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜き子供たちの学力の育成
施策	2	国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進
取組方針	1	国際化・情報化に対応した教育の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		高等学校費	
	目		学校管理費	
	大事業		高等学校管理事業	
	中事業		外国人講師・国際交流事業	

事業種別	継続			関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	市立和歌山高等学校	勝本 泰弘	461-3690
事業実施の根拠法令				関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)			全体事業概要		
	生徒の国際化を図る。			生徒の国際化を図る。 非常勤講師報酬・社会保険料・費用弁償の支出		
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		全商検定のスピーチコンテスト県大会で優勝1名・奨励賞1名で、1名全国大会出場。	全商検定のスピーチコンテスト県大会出場。	外国人講師を活用し、生徒の英会話能力の向上を目指す。	外国人講師を活用し、生徒の英会話能力の向上を目指す。	外国人講師を活用し、生徒の英会話能力の向上を目指す。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	4,538	4,520	4,538	4,534	3,840	4,308	4,536	0	4,536	0	
伸び率(%)	0%	△1.9%	0%	0.3%	△15.4%	△5%	18.1%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	2,305	2,305	2,393	2,393	2,398	2,398	1,998	0	1,998	0
	正規職員以外	0	0	949	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,305	2,305	3,342	2,393	2,398	2,398	1,998	0	1,998	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	11	11	11	0	11	0	
一般財源(税等)	4,538	4,520	4,538	4,534	3,829	4,297	4,525	0	4,525	0	
所要人数(人)	正規職員	0.29	0.29	0.30	0.30	0.30	0.30	0.25	0.00	0.25	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	非常勤講師報酬3,840千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
外国人講師の雇用人数		人	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
			達成度(%)	100%	100%	0%	0%	0%
英会話授業実施時間数		時間	目標値	735	735	735	735	735
			実績値	735	735	735	735	735
			達成度(%)	100%	100%	0%	0%	0%
全商英語検定合格者率(1級・2級)		%	目標値	30	30	40	40	40
			実績値	50	33	40	40	40
			達成度(%)	166.6%	110%	0%	0%	0%
			目標値	30	30	40	40	40
日本英語検定合格者率(2級・準2級)		%	実績値	25	61	40	40	40
			達成度(%)	83%	203.3%	0%	0%	0%
			目標値	30	30	40	40	40

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	生徒の国際化を図り、生徒の英会話能力の向上を目指した。
見直し・改善内容	スピーチコンテストの上位入賞、より多くの英検合格を目指す。